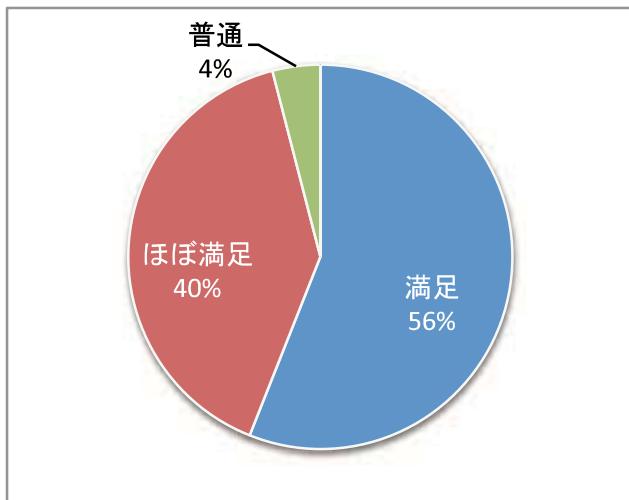


4. 参加者アンケート結果の概要

(1) 川崎区

検討会の満足度



満足	14
ほぼ満足	10
普通	1
やや不満	0
不満	0
計	25

○思っていた以上に楽しく、意味のある会だった

- ・ここまで良い会になるとは思いませんでした。
- ・どんなものかと思いましたが、なかなか楽しかったです。
- ・大変いいことです。

○世代間交流や、色々な人と意見を交換することができ、新たな発見があって良かった

- ・まさに“世代間コミュニケーション”が図れて、自分も代表として参加させて頂き、意見を述べさせて頂くことに充実しました。十人十色の討論は実のなる対話ができました。
- ・様々な世代の方々と意見交換ができる楽しい検討会でした。
- ・色々な年代の方と、たくさんの意見を話し合えてとても良かったです。
- ・若い方も多い、これからの世代に期待出来る川崎になると思います。
- ・たくさんの考えが出ました。感動します。
- ・いろいろな人の参考になる意見が聞けて良かったです。
- ・集まった人達のいろいろな考え方を聞くことができたので、参考になった上、楽しむことができた。
- ・他の方の意見を知ることができて良かった。
- ・色々な考え方、環境の中で生活している人と意見を交換できた。様々な立場に立つ人の話や意見・考え方等をお互いに話し合うことができてとても楽しかったです。
- ・知らないことが知れたので良かった。

- ・知らなかった情報が知れたり、とても充実した内容だった。
- ・知らないことが知れるチャンスになった。
- ・勉強になりました。
- ・知らなかった川崎区を発見することができました。
- ・色々なアイディアがあって面白かった。

○皆で楽しく、一生懸命に川崎のことを考えられた

- ・皆一所懸命な姿に感銘
- ・皆が楽しそうに川崎のことを考えていた。

○今後自分にも出来ることが見つかりそうだと感じた

- ・いろいろお話をしても自分にも出来ることが見つかりそうです。

○市の方にまちの現状を知らせ、話をする機会となった

- ・今日話し合ったことが実際に行われた時、この会に意味があったものだと思うと思います。市の方に「現状」を知って頂くという意味では良かったと思います。
- ・市に対して話をする機会で良かったです。

○会の雰囲気、運営方法についての感想やアイディア

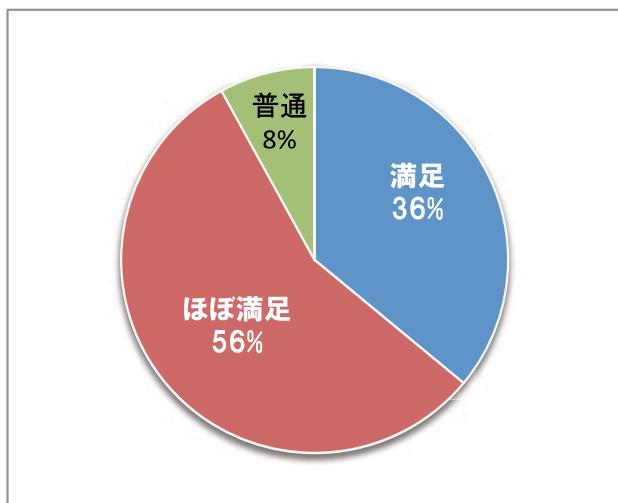
- ・手作り感があり、それがとても良かった。上からのお仕着せでないように思いました。
- ・一過性ではなく、定期的に市民の声をつなげる場を提供して頂けますと助かります。
- ・進行役の方も、地域を一度歩いてみて、実際の現場（交通状況等）を知ってから進行に入ると、イメージしながら進行出来るのではないかと思いました。
- ・アドバイザーの方の参加により、より良いまとめになったと思います。
- ・委託先の会社に投げるのではなく、職員が直に行って欲しかった。
- ・もっと検討する時間があればと思いました。テーマをもっと掘り下げる必要かと感じました。

意見交換の内容以外で追加したいアイディアや話足りないことなど、その他の主な意見

- ・ぜひ使いやすい川崎駅を見直してください。
- ・もう少し高齢者の知恵も使うほうが良い
- ・女性の社会進出に向けて、保育園を大きな会社の近くに設置するなどして欲しい。
- ・市民・民間・行政や NPO 等、それぞれの強みを活かして、価値を共創できると、魅力的な川崎になると考えます。
- ・川崎の良いところをもっとアピールして、住みやすく安全であること知られますように
- ・年代によって、知名度に差があるので、そのギャップを埋められると良いと思う。
- ・行政がトリガー（きっかけ）として、市民リーダーを育成し、継続した活動（コミュニティ）ができると良くなると考えます。
- ・人がどうやって知るのかを、その人の立場に立って発信することが大切だと思います。

(2) 幸区

検討会の満足度



満足	9
ほぼ満足	14
普通	2
やや不満	0
不満	0
計	25

○思っていた以上に楽しく、意味のある会だった

- ・想定以上の検討会で満足でした。
- ・課題に対して積極的に議論ができる、また対策が良くまとまつたと思います。
- ・川崎の今後を考える良い機会だった。

○川崎の現況や問題点などがわかって勉強になった

- ・川崎駅周辺や幸区のことがわかって良かったです。
- ・現況が把握できた（少し）。
- ・自分の気付かなかった、知らなかった問題点を多く聞けて良かった。
- ・多くの意見が聞けて参考になりました。
- ・自分に直接関わらない問題に触れることができて良かったです。

○多くの世代や色々な人と意見を交換することができ、良かった

- ・幅広い世代の方々と議論できて良かった。
- ・世代を超えて様々な意見が聞けて面白かった。
- ・普段会うことのない世代、業種の人々と意見を交わせることが新鮮だった。
- ・同区内の方々と向き合う場面があったことが良い。
- ・様々な立場の人の様々な意見を聞くことができたのが良かった。
- ・いろいろな意見が聞けた。
- ・今までになかった会で、他の区民の方の意見や考えを伺えて良かったです。このような会が増えると良いと思います。
- ・様々な方との意見交換の場はとても貴重でした。

○皆で楽しく、気持ちを共有できた

- ・ 参加者の多くの気持ちを共有できた。
- ・ 楽しく会話ができました。

○今後もこのような機会に参加したいと思った

- ・ 今後、市政、区政に協力したい。
- ・ このような機会があればまた参加したいと思いました。

○会の雰囲気、運営方法についての感想やアイディア

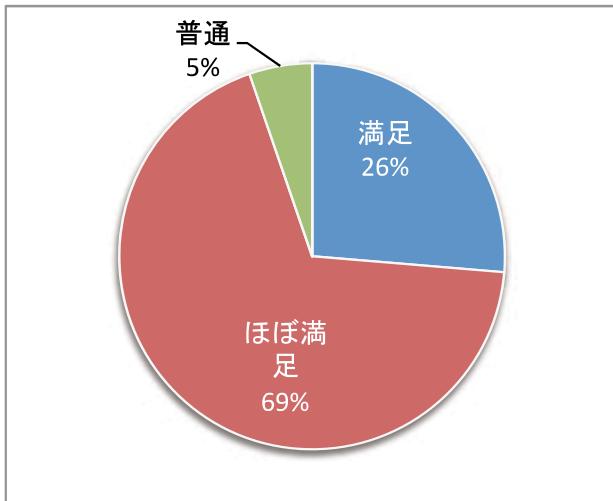
- ・ 時間が少し不足し、掘り下げられない。
- ・ 各チームに助手の方がいて議事がスムーズに進行した。
- ・ 参加できてとても光栄でした。また川崎市もこのような機会を用意していただきありがとうございました。
- ・ 良い企画であったと思う。
- ・ 今回のシステムで良いと思います。
- ・ 長期的な視点から論ずるのであれば、川崎市の定住化の希望も込めて高校生も同じ席上に参加させてみてはどうか？
- ・ テーマを絞って、より具体案を持ち寄ると良いと思った。
- ・ 2回目のディスカッションでは結局1人の方がずっと話していて、他の方の意見が発表に反映されなかった。(ファシリテーターの方も苦労されていたのは伝わりましたが)若い世代の意見はやはり年配の方は聞く耳を持たないこともあるのだなあと実感した。
- ・ サラリーマンで、祝日は休みでない人もいるので、土日を中心にしてほしい。
- ・ もっと短い時間で回数を増やして頂けるともっと多くの方が参加しやすくなると思います。
- ・ 1人の方がいなければもっと有意義な議論になった気もするがそういった他人の意見が耳に入らない方もいるという意味で勉強になりました。
- ・ 川崎駅のあたりでやっていただいたら行きやすいです。

意見交換の内容以外で追加したいアイディアや話足りないことなど、その他の主な意見

- ・ 市民として将来も住みたいと思えるような地域にしたい。
- ・ 西口と東口～京急川崎～市役所への移動をスムーズにしてほしい。
- ・ 細長い市・区に適した商店街の充実促進
- ・ 元気な高齢者が区や市を積極的支援で町づくりしたい！

(3) 中原区

検討会の満足度



満足	5
ほぼ満足	13
普通	1
やや不満	0
不満	0
計	19

○幅広い世代や多様な属性の方々と本音で語る中で色々な意見を共有することができ、面白く勉強になる検討会であった

- ・年齢、性別、居住地域、職業等の異なる、まさにミニ中原区の市民が本音で語れた良い機会であったと思います。
- ・幅広い世代の方と中原区の魅力、現状、課題等の情報（お話）を伺うことができて、とても有意義な時間でした。
- ・今回初めて参加しましたが、様々な年齢の方とお話をすることことができたので良かったです。普段こういった場がないので色々な考えを知ることができて参加して良かったと思います。
- ・地域の方々が普段から考えていらっしゃることがわかって参考になりました。
- ・普段考えていることをここで皆さんと共有できて、とても良かったです。
- ・中原区に越してきて日が浅いですが、今回の検討会に参加してこの街のことが良くわかり、非常に有意義でした。

○将来のことについて話し合う機会に参加できてよかったです

- ・これから 10 年後の川崎（中原区）について自分も含め皆さん熱くトークされていました。私もこの先 10 年、20 年は中原区で安心安全な生活をしていきたいと思っているので、今回このような機会に参加できたことはとても有り難かったです。
- ・同じ区民の方々の問題意識を聞くことができて、区・市の将来に対する興味が増えた。

○期待していた以上に明確なビジョンとテーマで議論が出来た

- ・期待していた以上にはっきりしたビジョンとテーマで議論できた。

○日頃から感じていることや行政への要望を述べることができた

- ・行政への要望を言えた気がする。
- ・日頃から感じていたこと、行政に伝えたいと思っていたことを発信できるいい場でした。

○皆様の意識の高さに驚くとともに感心した

- ・皆様の意識の高さに驚くとともに、感心しました。

○会の雰囲気、運営方法についての感想やアイディア

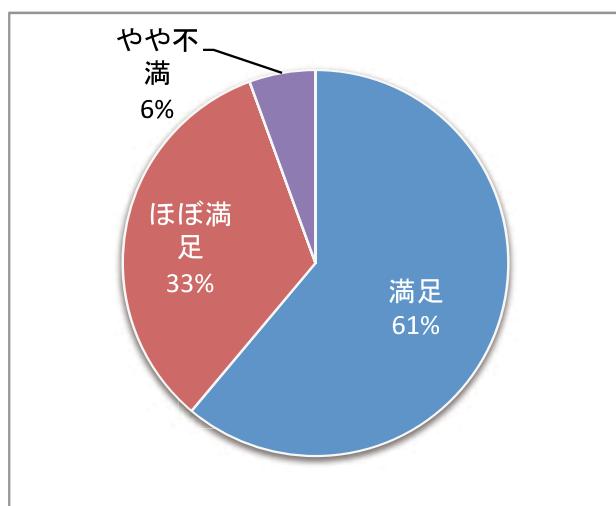
- ・補助スタッフの方がいてくれたので、意見交換スムーズに出来て良かったです。
- ・午前の「好きなところ・気になるところ」を話す時間が足りず、テーマも偏ってしまった。
- ・先に個人でもポストイットを書いてから、貼りながら話したほうが色々なテーマが出たかも、と思った。
- ・現場(地元住民)からの意見(本音)に耳を傾け、それらを活かしながら、行政とのツーウェイのコミュニケーションを図って行く、とても素晴らしい取組だと思料致します。
- ・あまり堅苦しくないこのようなミーティングはもっと開かれても良いと思いました。
- ・検討会の司会進行等もとても素晴らしかったと思います。ありがとうございました。
- ・中原区内の良い点をもっと発表してほしかった。
- ・誰に対して、何を話したいのか、話し対象、話し進める段取りも含めて考えたほうが良いと思う(単に想いを語るではなくて)。
- ・市民の人数が少なすぎる。もっと多くの人が集まれるようにする。
- ・このような検討会の報告が、広く市民に伝わるようにしていただきたいです。
- ・楽しくリラックスして誰でも気軽にできることを広くアピール宣伝すべき
- ・個人宛の DM (ダイレクトメール: お手紙、広告) で案内があったので開封して参加に至りました。情報発信の方法というのが重要だと感じました。

意見交換の内容以外で追加したいアイディアや話足りないことなど、その他の主な意見

- ・具体的な対策もあり、ぜひ実現させて頂きたい。
- ・地域差以外、人的災害、治安問題、どれも地域コミュニティと行政、企業との連携が最も重要なかつキーになってくると確信しています。
- ・災害が起きたときをシミュレーションするツール
- ・老老介護への対策
- ・共働きで子育てをする家庭のために、子育てイベントや子どもに関する手続きを土日にもできる範囲(経済)でよろしく
- ・インフラの整備、公共施設のリサイクル活用策、中長期的視点に立った取組が絶対不可欠
- ・高層マンションも限度があるので、規制も必要かもしれません。
- ・中原は市内一住み良い。
- ・行政の方も昔と違って区民のことを良く考えて下さっている。

(4) 高津区

検討会の満足度



満足	11
ほぼ満足	6
普通	0
やや不満	1
不満	0
計	18

○色々な年代、分野、観点からの意見を聞いて勉強になった

- ・幅広い世代の意見や視点を伺うことができて、勉強になりました。
- ・多世代の方と色々な意見交換ができ良かったです。
- ・様々な年代の方々と意見交換が出来て、色々な情報を得ることができた。
- ・とても、様々な方からの意見が聞けて勉強になりました。
- ・様々な意見を知ることができ、区民として見聞を広めることができました。
- ・色々な分野の意見が聞けて良かった。
- ・色々な意見（1つのテーマについて）がある中、より多くの意見、考えを知ることができ、とても良かった。

○課題を知り、今後何をすべきか真面目に考える良い機会となつた

- ・高津区民として地元を考える良い機会でした。
- ・川崎市の抱える課題をしっかり知ることができ、何をしたら良いかまじめに考える機会を得られたことに感謝

○区民同士の意識の共有を図ることができた

- ・高津区のことが少し知れて、高津区の区民の皆さんのが1人1人高津区を良くしていきたいことがともに分かり合えたことが良かったです。

○有意義な議論ができ、参加できて良かった

- ・とても有意義な議論ができて、参加できて良かった。

○会の雰囲気、運営方法についての感想やアイディア

- ・当初は議論の進め方に不安があったが、コーディネーターの皆さん、参加者のおかげで楽しく話し合うことができました。

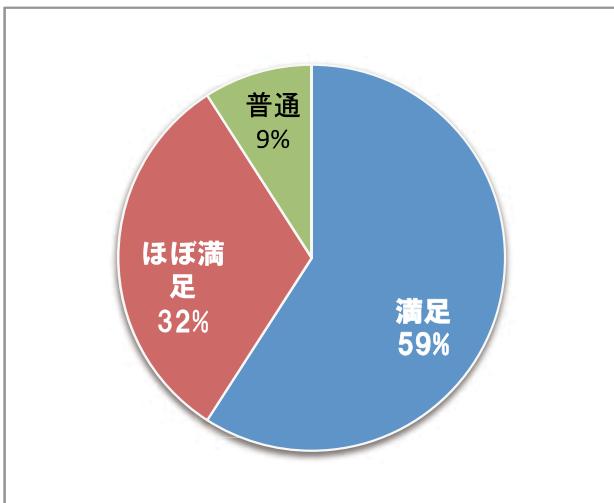
- ・とても効率的でムダがなく、良かった。
- ・スムーズに意見交換や議論が展開できました。
- ・テーマを絞った検討ということで、スコープがブレなくて良かった。
- ・意見を出し始めたら時間が足りないくらいに感じました。このような試みは良いと思います。住んでいる所を良くしたいのは、皆同じだと思います。
- ・良かったけど、もう少し自分の関係しているテーマを検討したかったです。
- ・前提に、財政に負担をかけない施策（税金を使わない）があり、その上で区民にアイディアを出させるというスタンスを感じた。税金の使い方、使い道から話し合いをした上で、誘導しない方向が望ましいと思った。
- ・ワールドカフェスタイルは意見が出しやすくてとても良かったです。
- ・活発な意見交換ができたと思う。
- ・「川崎市を良くしたい」というアイディアを出せることはうれしい。
- ・共助、自助を主体とした議論が展開されていたが、それでも「公助」の重要性が減ることはありません。参加者の良心を信じて、行政のできること、住民の後押しが必要なことを提案して頂くとなお良いと思います。
- ・会の様子がどんなものかホームページや広報紙、掲示板等で知って身近に感じることができれば、参加しやすいかもしれません。
- ・高津区としての PR を多方面で考えることが大切だと思います。こんなに素敵なことはもっと区民の人に知ってもらうべきです。
- ・定期的に開催して頂ければまた参加したいです。
- ・区役所が進行するべき。行政のプロなのだから。外注しない方向で今後は検討を
- ・少し前置きが長いので、本題にもっと時間を！
- ・子ども（小さい子）を預けられれば子育て世代は集まるのではないか

意見交換の内容以外で追加したいアイディアや話足りないことなど、その他の主な意見

- ・小学校や中学校、高校でも、AED の授業を入れるべき
- ・中学生による消防団の結成
- ・災害時の避難場所を明確にして欲しい
- ・介護従事者の不足解消に向けて
- ・老人、子ども達が安心して集える場所の確保
- ・子どもの貧困問題への取組
- ・子どもを大切に育てられる環境作り
- ・蔵力フェを作ったり（地元の主婦を雇うとか）、お金を稼げる場所も必要
- ・アニメやドラマの舞台になる(ex. 荒川の金八先生)
- ・河川グランドの見直し
- ・子どもの頃から地域にふれることが大切だと思いました。

(5) 宮前区

検討会の満足度



満足	13
ほぼ満足	7
普通	2
やや不満	0
不満	0
計	22

○色々な人と意見を交換することができ、有意義で勉強になった

- ・住民の方と日頃感じている課題を率直に話ができ、地域コミュニティの充実、学童保育支援の話を共有できたので満足
- ・いろいろな方々の意見を聞くことにより勉強になりました。
- ・さまざまな視点があるということで、大変勉強になり、刺激になった。
- ・色々な方の意見を聞くことができ又地域により問題点が違うことが良く理解出来た。
- ・子育てが終わった私にとって今現在子育て中の人達が何を欲しいのか?など良くわかりました。
- ・区内の色々な人とたくさん話せていい経験になりました。
- ・色々な方の意見を聞いて宮前区のことをより良く知れました。
- ・いろいろなテーマについてたくさんの意見が聞けて有意義でした。
- ・ふだん会わない人達と、いろんな話をしたり聞けたりしたのはとても良かったです。
- ・初対面の人々ゆえフランクな話が出来た。
- ・皆さんの声を聞けたのが良かった。
- ・市民の方の意見を共有できて良かったです。

○会の雰囲気、運営方法についての感想やアイディア

- ・主婦しかやってなく、何の専門知識もないのに大丈夫かしらと思いましたが、進行が上手くいっていたので、長時間を感じることなく過ごせました。
- ・意見を十分反映できる運営方法であったのが良かった。
- ・皆の意見を広く取り入れるような工夫がされていました。
- ・テーマは別々だが行く所は共通項が多い。

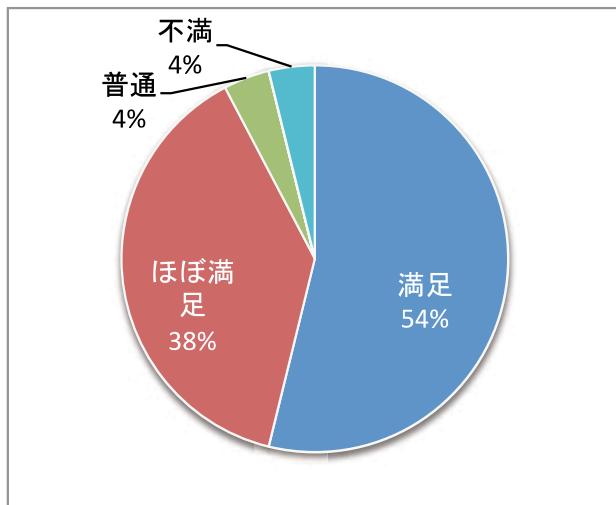
- ・もう少し議論を深めたい Point が残った。(区の行政と自治会・町内会の関係)
- ・解決策の具体的提案に言及する時間が少なかったのでは
- ・若い人が少ない。
- ・良い体験が出来たと思います。初めてのことでしたが多くの方と意見交換が出来良かったと思います。ありがとうございました。
- ・思った以上に良い方法であったと思います
- ・思ったより皆様積極的でした
- ・より実現に近づけるために、具体的な案と、すぐにでも実行可能な案件を実行する体制が必要
- ・市役所による市役所のために自力で検討会をすることを期待します。
- ・この取組についてもっと広く、多くの人たちが知ることができたら、より良いものになっていくと思います。
- ・参加者のバランスをとるのが難しいと思うが、たとえば高校生などの若年レベルも含めてみてはどうか
- ・ランチ食べながらなど、よりリラックスした環境で話し合えたらより良いかも
- ・初めての参加でしたが、進行役の方もあり非常にやりやすかった。
- ・もう少し短いとありがたい。(時間)

意見交換の内容以外で追加したいアイディアや話足りないことなど、その他の主な意見

- ・健康寿命の提唱が必要と思う。
- ・独居老人の見守りを地域が中心となる。
- ・子育て、共働き世代が増加傾向なので至急対応が必要
- ・行政の協力と地域の連携
- ・子の教育と親の負担と、高齢者のつながり
- ・高齢者と子供をつなげる活動があれば…
- ・宮前平ロータリーの機能的な改造が急務。人の流れを考えていないモニュメント等の見直しが必要
- ・他の市などにアピールできる観光が欲しい。
- ・すべて地域が協力して活動すれば良い方向に行くのでは
- ・高齢（90 才）の母を散歩させるのですが、坂の途中で何度も休憩しますので是非あちこちにベンチを置いていただきたい。
- ・市の独自財源の確保（新しい財源の発掘）

(6) 多摩区

検討会の満足度



満足	14
ほぼ満足	10
普通	1
やや不満	0
不満	1
計	26

○意見が出しやすい雰囲気で楽しく参加できた

- ・ 楽しかったです。
- ・ 意見が出しやすい雰囲気でした。

○全員の意見が反映され、まとめ等が整理されていて有意義な議論になった

- ・ 全員が良く意見を述べ、最後のまとめが良かった。
- ・ 意見が整理されていたと思います。
- ・ 有意義な議論が行えたと思います。
- ・ 自分の意見は発言できたり、人の意見も聞くことができて有意義な時間でした。
- ・ なかなか良い機会でした。
- ・ 良い取組だと思います。活発でした。
- ・ ある程度具体化された。
- ・ 市民の目線から意見発表できた。
- ・ 活発な意見が出され、新しい視点からの意見や気づきができた。市が総合計画を市民主体で市民の意見を重視してつくろうとしていることを頼もしく思った。

○幅広い世代や多様な属性の方々と色々な意見交換をすることができ、勉強になる検討会であった

- ・ 色々な年代の人がいて良かったです。
- ・ 幅広い世代の方の意見、問題が聞けてとても充実していたと思う。自分の目線では気づかない課題が多くあることも理解できた。

- ・さまざまな世代の方と討論できたことは良かった。
- ・知らないこと、考えてもいなかつたことが多く、大変良い勉強になった。
- ・普段なかなか話すことができない方々と意見交換できて勉強になったと思います。
- ・登戸、向ヶ丘遊園、生田とそれぞれの駅で地域の特性が違うことを知った。
- ・普段の生活では関わりの少ない方々の意見を聞くことができ勉強になった。
- ・色々な意見交換により大変勉強になりました。
- ・多摩区には人材が多いですね。
- ・初めてお会いする方と密度濃く和やかにお話することができました。進行の方に感謝しています。

○区民としての意識が高まった

- ・区民としての意識が高まり、育児への自信にもつながりました。
- ・参加して良かった、多摩区の素晴らしいを認識しました。

○会の雰囲気、運営方法についての感想やアイディア

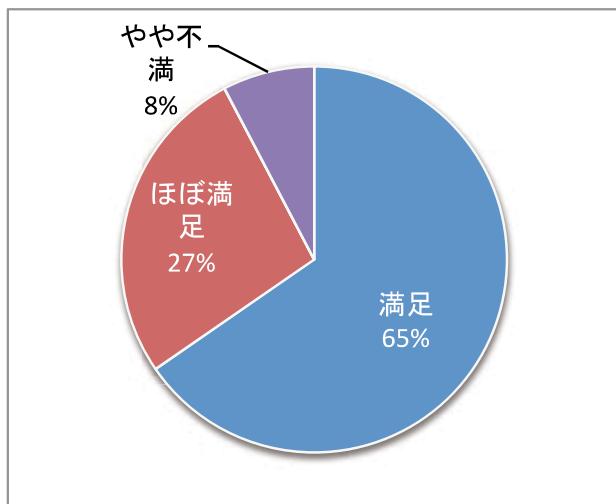
- ・ファシリテーターはメンバーの気持ちを丁寧に受け止めて展開なさっておられました。
- ・住民の意見を聞くのは当然だが、具体的に意見を聞く仕組みを増やす必要がある。
- ・プログラムがしっかりしていて進行が良かった。ファシリテーターもうまくまとめてくれた。
- ・1日丸々つぶれるスケジュールよりは AM もしくは PM に日程を寄せていた方がありがたいと思った。
- ・メンバーの意見を反映させたがために午後のまとめが少々オセオセになってしまって残念でした。もう少し整理が必要
- ・市民の意見を聞く大事な会議だと思う。数年ごとに開催して時代と共に変化する問題と向き合うべき
- ・色々な意見が聞けて、またそれぞれ同じような不満等があり、みんな真剣に地域のことを考えていくんだと思った。
- ・問題から解決に至るまで、地域で関わりか、行政の関わりか、住みやすくなるために色々な意見が出ておもしろかったし、まちづくりに貢献できた気がします。

意見交換の内容以外で追加したいアイディアや話足りないことなど、その他の主な意見

- ・自分は高齢者だから子どもたちが住み良い多摩区に
- ・ますます健康で長生き、良い人生だったと思える老後を通したいと思った。
- ・まちのバリアフリー化、危険箇所の情報を集めて対応して欲しい
- ・老人検診の充実（がん検診など）
- ・不登校やひきこもりの人が社会参加できる支援を考えることが必要
- ・温かいご飯と笑顔があれば子どもは健やかに育ちます！その2つに不自由する子どもは社会全体で支えたい。
- ・認知症の方の徘徊を見かけた時、どこに連絡すれば良いのか。地域の関わり。

(7) 麻生区

検討会の満足度



満足	17
ほぼ満足	7
普通	0
やや不満	2
不満	0
計	26

○色々な世代の方々と楽しく多様な意見交換ができ、楽しく勉強になった

- ・色々な世代の方々と楽しい雰囲気の中で話すことができ、有意義な時間でした。
- ・普段話すことのない世代の方の意見を聞け、とても楽しく参加させて頂きました。10 年後の川崎が更に楽しみです！
- ・色々な世代の方たちと川崎市の未来を語れて楽しかったです。
- ・多世代の意見が聞けた。
- ・いろいろな世代の方の意見を直接聞くことができ、勉強になりました。
- ・多様な意見が聞けて楽しかった。
- ・自分の住んでる場所しか知らなかったのですが、いろんな人達と話して勉強になりました。
- ・今まで自分が全く考えていなかったような意見をたくさん聞けて、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・こういった会には初めて参加しましたが、色々な方から普段聞けない話ができるで楽しかった。
- ・他の方の考えていることが似たようなことだったので、問題に思っていることは同じようなことなのだと感じました。

○市政に興味を持つためのとても良い一助になった

- ・様々な人と交流でき、地域のことを真剣に考えることができた。
- ・市政について全く興味が無かったのですが、興味を持つ良い機会になりました。

○改めて麻生区の魅力を再認識できた

- ・改めて麻生区の魅力を再認識することができた。

- ・ 麻生区の具体的な課題やポイントについて共有することができた。
- ・ 麻生区（川崎市）が好きになりました。

○参加者に見識のある方が多く、規模も少人数で充実感があった

- ・ 見識のある参加者が多かった。
- ・ 少人数なので充実感がありました。
- ・ 若い方達が行政に興味が大変おありなのに感心致しました。

○会の雰囲気、運営方法についての感想やアイディア

- ・ 初めての参加で不安がありましたが、進行役、サポートして下さる方々がいらしたので意見を話すことができました。
- ・ 話し合いが盛り上がり、良い検討会だったと思う。
- ・ 進行もてきぱきで時間の長さを感じませんでした。
- ・ 運営手法がまずありきで、まとめを急ぎすぎな印象を受けた。現段階でその良否を結論づけるのは難しいが、参加者の受け止め方は様々ではなかっただろうか。
- ・ 総じて真摯な議論が多かったが、この間に行われた議論を委託業者がどういう責任でどうやってまとめ、どういう形で市役所に提出するか、そのプロセスが全く不透明
- ・ 初対面でもこのような WS（ワークショップ）のスタイルは気軽に話せて良かった。
- ・ 市民の意見を広く吸い上げようという市政に敬意を表します。
- ・ 自分の意見を川崎市の運営に直接反映できることが、嬉しかった。
- ・ 引っ越して3ヶ月～4ヶ月だったのですが良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・ 区民のリアルな意見が、今後実現していくことを願います。
- ・ 案内の詳細を送って頂いてから検討会までもう少し時間がほしいです（資料を読む時間がほしい）。
- ・ もう少し話す内容のわかりやすいイメージの手紙が良いのではないか。
- ・ テーマが多岐にわたったので、掘り下げた議論にならなかったのが物足りなく感じました。
- ・ まとめのプレゼン結果のフィードバックをして欲しい。
- ・ （このような）機会を増やしたり、世代別に会を開催したほうが盛り上がるのでは？

意見交換の内容以外で追加したいアイディアや話足りないことなど、その他の主な意見

- ・ 災害の情報発信（スマホなど）
- ・ 近所との交流が第一だと思う
- ・ 駅のバリアフリー
- ・ 働く場所作り（NPO など）
- ・ 駅前で気軽なコンサートが楽しいと思う
- ・ 禁止事項が多い公園が増え、インドアな子どもが増えたように思うので、改善されるといいなと思います。
- ・ 小田急線以外の路線へのアクセスが充実するともっと住みやすくなります。

5. 市民検討会を振り返って

本事業実施にあたって工夫した4つのポイント等について振り返ります。

(1) 7区の地域性にこだわり、現場の声を引き出す

7区で開催することで、区ごとに特徴のある意見が寄せられました。以下に、今回、参加者から寄せられた意見から浮かび上がる区の現状イメージをまとめます。

川崎区：バス路線は充実しており、平坦な地形であるため、自転車を利用しやすいことが利点である反面、マナーの悪さ、歩行者の安全性、放置自転車などの問題がある。子育て世代が増加しているが、遊び場や子連れで行ける場が少ない。東京・横浜方面への交通が便利で、文化施設や商業施設が充実し、ハロウィンなどのイベントや、海に面していることが資源的特徴として認識されている。駅前の治安やゴミ、ホームレスなどが問題。古くからのコミュニティがあり、やさしい区民が多く地域のつながりが深いが、新旧住民のコミュニケーションには課題がある。

幸 区：平坦な地形であるため、自転車を利用しやすいことが利点である反面、ルールやマナーに問題がある。道路が狭く、歩行者にとって車を危険と感じている。交通の便が良く駅やお店へのアクセスは良いが、区内の区役所や公共施設へのアクセスが悪い。古くからのコミュニティが元気で、町内会・自治会の加入率は70%超と市内で最も高いものの、新しいマンション等の住民の加入は少ない。良いこととして子育て世代が増加しているが、保育園の不足や小学校の学級数の偏りが問題を感じている。新拠点は賑わっているが、古くからの商店街に元気がなく、大型スーパーも少ない。ホームレスやゴミが問題。夢見ヶ崎動物公園や多摩川などの資源がある。

中原区：平坦な地形であるため、自転車を利用しやすいことが利点である反面、ルールやマナー、駅周辺の放置自転車とともに、商店街の買い物客の駐輪場所などの問題がある。道が狭い（府中県道の歩道など）ことや、一方通行が多いことなどが問題を感じている。治安が良く、福祉施設が充実しており、子育てしやすい。武蔵小杉の再開発により発展し、新住民や子どもが多いが、保育施設や学校、遊べる場の不足、交通渋滞など急激な人口増に対するインフラ整備が必要。スポーツが盛んなまちというイメージや、武蔵小杉やブレーメン通り商店街などの活気、等々力緑地や二ヶ領用水、多摩川などの資源がある。

高津区：買い物がしやすく、交通アクセスが良いが、道が狭く、車や自転車、起伏がある地形による急坂が高齢者の移動を困難にするとともに危険もある。子どもが多く、駅に近い施設が多いなど、子育てしやすいが、保育施設や遊び場は不足している。大山街道などの史跡や芸術文化の資源に恵まれ、スポーツや自然を楽しむことができる多摩川や、里山の緑、新鮮野菜が楽しめる農などの自然資源にも恵まれている。

フリーマーケットやイベントの情報も多い。人と人とのつながりがあり、町内会・自治会の活動が活発だが、若者とシニアの交流が少ないことが課題と感じている。

宮前区：地形的に坂が多く移動が大変で、雨水による災害に不安がある一方、トレーニングになって健康面で良いという意見もあった。都心へのアクセスが良く区内のバス路線も充実しているが、区内の公共施設へのアクセスは悪いと感じている。緑が豊かで公園が多く、農家が多いことは資源として認識されている。図書館やスポーツ施設が不足している。マンションが都心に比べ安く、若い世代や子どもが多く活気があるが、反面、遊び場が少なく、公園や施設の不足・老朽化、保育のバックアップが課題として感じられている。デイサービスが多く高齢者が頑張っており、地域活動が活発であるが、地域のつながりがある所と弱い所があり、高齢化に伴うシニアのさらなる活用や、医療の充実が期待されている。

多摩区：緑と住宅のバランスが良く静かで住みやすくて買い物に便利である。坂が多く特に高齢者にとっては移動が大変で、雨水による土砂崩れなどの災害にも不安がある。都心へのアクセスは良いが、区内の移動環境は悪く、踏切による地域の分断や駅のバリアフリー化も課題であると感じている。道が狭く一方通行が多い。子どもが多く、遊ばせる場所もあって子育てしやすい環境だという認識がある。あたたかいコミュニティもあるが、転入者が多く、地元のコミュニティとのつながりが希薄な所もある。生田緑地、多摩川、二ヶ領用水、農地などの豊かな自然、ばら苑、藤子・F・不二雄ミュージアム、民家園など魅力的な施設が多く、地域活動が盛ん。

麻生区：緑が多く生き物が豊富で公園も多いが、手入れも大変で公園のメンテナンスが悪いと感じられている。農家が多く新鮮な野菜が食べられることが魅力だが、高齢化した農家の存続が懸念されている。文化施設が多く芸術のまちとして誇れるとともに、スポーツが盛んである。都心へのアクセスは良いが、区内のアクセスは悪いと認識されている。駅前も静かで町並が美しく道が整備されている一方、場所によって道が狭く車が危険であることや、歩道に傾斜があり歩きにくいこと、坂が多くバスが丘の上まで来ないなどの問題があると感じている。病院が多く、医療が行き届いているという意見が多かった。若い世代が多いが将来の高齢化が心配という認識もある。

全区：区ごとに特徴が分かれた一方で、各区に共通する意見もありました。「まちの好きなところ」では、「交通の利便性が良いこと」、「10年後のまち」では、「安全・安心にまちを歩けたり子育てできるまち」や「多世代で交流できるまち」などが出されました。

特にテーマ別の議論からは**自助・共助の力を高める大切さ、まちの価値向上や川崎のイメージアップの必要性**のほか、次ページの3つの点が共通するものとして出されました。

①市民へのPR不足（情報が伝わっていない）

<各区の具体的な例>

- ないと思ったら実はあったという気づきが多く見られた。（通常の広報だけでは無関心な人に届かない。市民の力で声を出していくことが大事）‥川崎区
- 情報がきちんと届くことが大事‥幸区
- 多様な情報を整理すること、内外への情報発信力を高めること‥多摩区
- 思ったより区ではいろいろなことに取り組んでいることが分かった。それが区民に伝わるPRが必要‥麻生区

②既存資源の活用

<各区の具体的な例>

- ないものにつくるのではなく、既存の資源を活用することが大事‥川崎区
- 既存の空間にサービスや仕組みを付与する形で活用する。‥高津区
- 既にある「活動」「人材」「情報」「場所」などの資源を活用することが大事‥宮前区
- 観光資源、商業施設などをネットワーク化することで、価値を高めることが大事‥多摩区

③多世代交流

<各区の具体的な例>

- 地域の人材を求める人とつなぐことが大事‥川崎区
- 古くから地域に住む人と新しい住民が交流し、コミュニティを育むことが高齢者の問題や子ども支援など、テーマを横断した課題解決につながる。‥幸区
- 高齢者を人材として子どもや子育て層のために活かしていく。‥高津区
- シニアが子どもの学びに関わることで、子どもは学校では学べない教育を得ることができ、親の負担も減る。‥宮前区
- 高齢者も子育て層も地域の中でともに学ぶことが大事‥多摩区

(2) 無作為抽出・有償型で、責任感のあるバランスの良い議論を行う

- ・ **バランスの良い議論を行うために、無作為抽出型を導入した結果**、10代から80代以上の年代にかけて、これまで市政への参加や協働のきっかけがなかった方も含めて、幅広い市民の参加が得られました。アンケートからは、「**様々な年代の方と意見交換ができる**」といった意見が多く寄せられました。一方、「高校生の参加など、参加者の幅を広げても良いのではないか」「若い人が少ない」という意見もありましたが、区によっては、若い参加者の欠席が目立つケースがあったことも要因として考えられます。
- ・ また、「個人宛の DM（ダイレクトメール）で（市から）案内があったので開封して参加に至りました。情報発信の方法というのが重要だと感じた」という意見からは、無作為抽出ならではの参加者の声を確認できました。
- ・ 参加者数は、他都市での実施実績の比較により、30人規模に設定しましたが、一方で「市民の人数が少なすぎる。もっと多くの人が集まれるようにする」という意見も寄せられました。
- ・ **責任感のある議論を行うために有償型を導入した結果**、ほぼ1日拘束することや、事前資料等にも目を通してもらうこと、議論の場でも責任を持って意見を出してもらうことなどについて批判的意見はなく、他事例を参考に設定した謝礼金額 5,000 円（税込み）についても意見は確認できなかったため、**概ね妥当な手法**であったと考えます。

(3) 創造的な議論の場をつくり、今後も市政に参加するきっかけのひとつにする

- ・ **参加者の満足度**（「満足」と「ほぼ満足」を足した割合）は、川崎 96%、幸 92%、中原 95%、高津 94%、宮前 91%、多摩 92%、麻生 92% となり、**全市的に9割を越える結果**となりました。
- ・ 各区ともに、**世代や立場の異なる区民と意見交換できたこと、まちの良さや様々な情報を学び発見を得たことへの満足**が自由記入欄に寄せられました。
- ・ 「**今後の市民参加の場に参加してみたい**」という設問に対し、川崎 86%、幸 87%、中原 57%、高津 87%、宮前 78%、多摩 75%、麻生 87% となり、**全市平均で 79%**となりました。

- ・「このような機会があればまた参加したい」「今後、市政、区政に協力したい」という意見が多く、「定期的に市民の声をつなげる場の提供、展開をしていって欲しい」といった意見も寄せられています。
- ・また、「自分にも出来ることが見つかりそう」「区民としての意識が高まり、育児への自信にもつながりました」「地域に積極的に参加していこう」というまちづくりに主体的な姿勢を持つ意見もありました。

(4) 2つの手法で「広く」そしてさらに「掘り下げて」意見聴取する

[ワールドカフェ・タイプ]

- ・午前中の議論の場のデザインでは、「広く」意見聴取するため、以下のことを工夫して議論を進めました。
 - ✓ テーマを絞り込みすぎない意見収集により、幅広い意見が集まるようにした。
 - ✓ 参加者同士で気軽に意見を出し合える雰囲気とした。
 - ✓ 席替えを通していろいろな人の視点を得ることができ、午後につなげる議論のウォーミングアップにつなげるようにした。
 - ✓ あらかじめ年齢性別がバランス良くなるようにグループ分けをした。
 - ✓ 話が進まなくなるグループが出ない様、進行を補佐するスタッフをつけた。
 - ✓ 各グループで優先度の高い意見をシール貼りしてもらい全体発表の中でのプライオリティの高い意見傾向を共有した。
 - ✓ 午前に出た発表の中で、午後のテーマにつながる部分を整理し共有する時間をつくった。その結果、アンケートでは「いろいろな人の参考になる意見が聞けて良かった、知らなかつた川崎を発見することができた」「当初は議論の進め方に不安があったが、コーディネーターの皆さん、参加者のおかげで楽しく話し合うことができました」という意見が全区的に寄せられました。
- ・一方、事前想定の時点で、先にポストイットを書くとスムーズに議論に入らないことがわかり、はじめに意見交換から入るようにしたことについては、「先に個人でもポストイットを書いて、貼りながら話したほうが色々なテーマが出たかもと思った」という感想も寄せられました。

[グループワークタイプ]

- ・午後の議論の場のデザインでは、「掘り下げて」意見聴取するため、以下のことを工夫して議論を進めました。
- ✓ 各区の課題の中でも特に優先度の高い課題を区役所との調整や7区のバランスを見て4つに絞りこんだ。
- ✓ グループの発表を全員で共有し、シール投票を行うことで、参加者全員での市民の視点からの重要度の共有を行うようにした。
- ✓ グループを通して出た共通点を総合ファシリテーターが整理し共有した。
- ✓ 参加者に事前に希望するテーマを確認し、その希望にできるだけ沿えるようにグループ設定した。
- ✓ ファシリテーターをつけ、より具体的な議論ができるよう進行した。
- ・その結果、アンケートでは、「ファシリテーターのおかげで、議事がスムーズに進行し、良いまとめとなった」「初めてお会いする方と密度濃く和やかにお話することができました。進行の方に感謝しています」「テーマが絞られていて、議論が拡散しすぎず良かった」「全員が良く意見を述べ、最後のまとめが良かった」という意見が寄せられました。
- ・一方、「テーマを絞って、より具体案を持ち寄ると良い」「深堀が足りない」という意見や、「もう少し自分に関係しているテーマを検討したかった」という感想も寄せられました。

[ワークショップ全体]

- ・このような検討会の場を設定することで、「行政が直接地元の本音を汲み、コミュニケーションを図る素晴らしい取組である」「行政の方も昔と違って区民のことを良く考えて下さっている」「市の方にまちの現状を知らせ、訴える機会となった」という行政と参加者によるコミュニケーションの場があることへの感想も多く寄せられました。
- ・区民同士がスムーズにコミュニケーションできる手法として、前半・後半の異なるワークショップ手法を導入することによって、「様々な世代や異なる意見の人と意見を交換」することができ、様々な考えを共有することができ、新たな発見があって良かった」という主旨の意見がすべての区から寄せられました。
- ・全体の進め方については、「全体に進め方がとても良かった」「検討会の司会進行等もとても素晴らしい」という感想が寄せられました。一方「会の運営手法がまずありきで、まとめを急ぎすぎという印象を受けた。」という意見もありました。
- ・その他、「単に想いを述べるだけではなく、想いを話す対象や話を進める段取りがもっと

明確になると良い」「ランチを食べながらなど、よりリラックスした環境で話し合えた
らより良い」という意見もいただきました。

[開催日程や時間設定]

- ・時間配分については、参加者の負担を考え、開催日を1日と設定しましたが、「議論の時間が足りない、議論が掘り下げられない」「少し前置きが長いので、本題にもっと時間を」という指摘も寄せられました。
- ・開催時間について「もう少し短いとありがたい（時間）」という意見や、時間帯について「夕方にずらしてもいい」という意見も寄せられました。

[情報提供について]

- ・「案内の詳細を送っていただいてから検討会までもう少し時間がほしい（資料を読む時間がほしい）」という資料の送付時期や、「もう少し話す内容のわかりやすいイメージの案内が良い」という議論テーマについての情報提供方法について意見が寄せられました。
- ・なお、事前送付資料の量は、いろいろな世代や関心を持つ参加者が読むことに配慮して、あまりボリュームが多くならないよう1テーマにつき1ページにおさまる程度に整理して送付しましたが、議論の中で市が取り組んでいることが知られていないことでアイディアとして出されるケースも多く、行政の取組を知った上で、深く議論を進めるためには、情報提供量を多くする手法や、より絞ったテーマ設定で議論を進める手法を取り入れる必要があると考えられます。

(5) その他

- ・アンケートでは、「検討会の報告が広く市民に伝わるようにしてほしい」という意見とともに、「世代別に会を開催したほうが盛り上がるのでは？」という意見や、「外部委託せず、行政職員の方で会を開いてもらいたかった」と言った意見も一部あり、この取組を周知するとともに、委託業者の紹介や委託理由などをより丁寧に説明するなど、運営面でのさらなる改善点も見つかりました。

(6) 今後に向けて

- ・今回の市民検討会は、総合計画策定にあたっての取組としては、本市で初めてのものであり、市としても手探りの中での実施となりましたが、前年度から他都市事例の調査や、

職員によるワールドカフェ研修会などを実施するとともに、事前にシミュレーションを行うなど、入念な準備を経て無事に終了することが出来ました。

- ・この検討会を通じて、年齢・性別・お住まいの地域などが異なる幅広い層の市民の皆様から御意見をお聴きする中で、市としていくつか認識を新たにしたことがあります。
- ・一つめは、**市の取組や魅力が市民の皆様には充分に届いていないのではないか**、ということです。さまざまな要望や御意見を伺うと、市では既に取り組んでいる事柄が比較的多く、**必要とされる方に必要な情報が分かりやすい形で伝わることが大切である**ということが分かりました。
- ・二つめは、本市には**参加意識の高い市民がたくさんいらっしゃる**ということです。市の財政状況や取組の方針をお伝えすると、自分たちで出来ること、あるいは地域のみんなで出来ることは何か、主体的に考え、参加してみたいと感じる多くの市民がいらっしゃるということを印象付ける機会が数多くありました。
- ・このような**市民の力を、川崎の財産として活かした地域づくりを進めていくことを大切**にしたいと考えています。
- ・三つめは、**世代間の交流をもっと進めていけないか**、ということです。参加意識の高い市民の方々の中には、豊富な経験と知識を備えたシニア世代が多く、子育て世代など他の世代との交流を望む声が多く寄せられました。
- ・**さまざまな世代が交流し、それぞれの社会的役割を果たすことで幸せを実感できるような地域社会を創っていくことが、新たな総合計画を目指す「最幸のまち」の実現に向かたひとつ道筋なのではないか**と考えています。
- ・これからも、さまざまな機会を捉えて市民の皆様の御意見をお聴きしていくますが、このような、「対話」と「現場主義」の実践を通じて生まれた発見は、新たな総合計画の策定など、今後の市政運営に十分活かしていきたいと考えています。

川崎市の新たな総合計画づくりに向けた
「川崎の未来を考える市民検討会」

報告書

平成 26 年 10 月

発行 川崎市総合企画局都市経営部企画調整課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地
電話 044-200-0372



市民 検討会

川崎市の新たな総合計画づくりに向けた
川崎の未来を考える